

<b>マンネブ水和剤</b> <b>エムダイファー水和剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ、一農、琉産  <b>原体メーカー：</b> 大内新興
<b>成分：</b> マンネブ〔有機硫黄 PRTR・1種〕……………75.0% <b>その他 PRTR 該当成分：</b> ヘキサメチレンテトラミン〔PRTR・1種〕……………1.5% 亜鉛の水溶性化合物〔PRTR・1種〕……………1.0%	<b>性状：</b> 淡黄緑色水和性粉末45μm以下  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 予防効果が高い保護殺菌剤で残効性もある。
- 果樹・ばれいしょ・花き類の広範囲の病害に対して高い防除効果がある。
- 病害だけでなく、かんぎつのミカンサビダニにも防除効果がある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 予防的な防除効果が高いので発生前～初期に定期的な散布で防除効果があがる。
- 浸透移行性はほとんどないので、作物全体に均一に散布する。
- かんぎつ黒点病は雨との関係が密接であるので、散布を実施したあと降水量の累計が250～300mmになった頃を目安に、次の散布をする。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- ボルドー液、石灰硫黄合剤など、アルカリ性の強い薬剤との混用はしない。
- 銅剤との混用はさけ、銅剤との散布期間は、7日以上あける。
- 共通注意事項8、適用作物群に関する注意事項を参照。
- 適用作物（花き類）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（うり類、ぶどう）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 共通注意事項6、街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。
- 藻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】 .....

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	マンネプを含む 農薬の総使用回数
み か ん	ミカンサビダニ	1000 倍	200～ 700 ℓ	60 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
	小黒点病 黒点病	600～800 倍					
か ん き つ (みかんを除く)	ミカンサビダニ	1000 倍		90 日前まで			
	小黒点病 黒点病	600～800 倍					
り ん ご	黒点病	400～650 倍		30 日前まで	1 回		1 回
な し	赤星病			45 日前まで	3 回以内		3 回以内
か き	落葉病 炭疽病				2 回以内		2 回以内
ば れ い し ょ	疫病			100～ 300 ℓ	14 日前まで		7 回以内
せ ん き ゅ う	べと病	600 倍	21 日前まで	4 回以内	4 回以内		
と う き			100 ℓ			14 日前まで	
ば ら く き ー ン ー シ ョ ン	灰色かび病 炭疽病 べと病 さび病	400～650 倍	100～ 300 ℓ	発病初期	8 回以内		8 回以内
チューリップ	褐色斑点病	500 倍					
す ぎ	赤枯病	400～600 倍	300 ℓ	床替活着後			